

# 第一化成

今年、創業70周年を迎えた第一化成は「新規事業の創出」に向け活発に動いている。主力の繊維加工部門だけでなく、大きな事業拡大が期待できる土建薬剤や販売が好調な特殊樹脂などを管轄する機能材部門、それに各種プロセス・排水処理向けのイオン交換樹脂・キレート樹脂などを扱う環境関連部門も加わった全

社一丸のプロシエクト。奈良敏行社長は「創出し

事業が軌道に乗りつつある。具体的には、アパレル商社と機能性薬剤を共同開発し、タイの販社から現地の日系企業に販売する事業が立ち上がって

タイ販社との連携は機能材部門の強化にも貢献している。同部門の連携事業ではこれまで自動車業界向けの合成木材をタイ市場に販売するなどし

針だ。奈良社長は「ASEANでの機能材の拡販にさらに力を入れたい」と意欲的。どの国に攻勢をかけるのか、来期の戦略から目が離せない。

## 全社一丸で新規事業創出

た新規事業を海外にも水平展開し経営基盤強化のエンジンにしたい」と意気込んでいる。

おり、今後、この取り組みをタイにとどまらず幅広くASEAN（東南アジア諸国連合）地域の商

て成果をあげてきたが、タイの販社で扱う商材は最近、機能性樹脂や樹脂添加剤にも拡大。こうした幅広い機能材の海外展開は、インドネシアなど

も注目だ。住化ケムテックスとの提携事業であるイオン交換樹脂・キレート樹脂の販売に加え、自社開発の金属吸着樹脂の拡販でも新たな戦略を温めており、「エコ」をキーワードにした新事業創出プランも浮上してきそう

だ。

繊維加工部門では、今年設立10年になるタイの販売会社と連携した拡販

している。

タイ周辺国にも広げる方

だ。

だ。